

様式第1号

兵庫県福祉サービス第三者評価の結果

① 第三者評価機関名

特定非営利活動法人 こども応援隊

② 施設・事業所情報

名称：わくわく保育園	種別：保育所			
代表者氏名：理事長 橋本 貴美男	定員（利用人数）：108		名	
所在地：尼崎市南塚口町8丁目7番11号				
TEL 06-6439-6969	ホームページ：waku89.org			
【施設・事業所の概要】				
開設年月日：平成27年4月1日				
経営法人・設置主体（法人名）：社会福祉法人いきいきのびのび				
職員数	常勤職員： 20	名	非常勤職員： 10	名
	(専門職の名称)	名		
専門職員	保育士	22名	調理師	3名
	管理栄養士	1名	准看護師	1名
	保育補助	1名	清掃員	1名
	事務員	1名		
施設・設備の概要	(居室数)		(設備等)	
	10室		保育室、調理室、保健室、ランチルーム、遊戯室、職員休憩室	

③ 理念・基本方針

<p>子ども一人ひとりを大切に、地域に見守られ、地域と共に育つ保育園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊かでしなやかな心と身体をもった子ども ・いろいろな人とのかかわりの中、自分の気持ちも人の気持ちも大切にできる子ども ・自分で考え、意欲的に行動できる子ども
--

④ 施設・事業所の特徴的な取組

<p>地域との関わりが多く、地域の取り組みであるピース21や文化祭、いきいき館との異世代交流などに参加しています。</p> <p>また、保育園に通っていない地域の児童を対象として、毎週水曜日に「わくわくひろば」を開催し、パネルシアターやわらべうた遊びなど、子育て支援にも取り組んでいます。</p>
--

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	平成29年9月12日（契約日）～ 平成30年3月2日（評価結果確定日）
受審回数 (前回の受審時期)	0回（平成 年度）

⑥ 総評

<p>◇特に優れている点</p> <p>保育理念を「子ども一人ひとりを大切にし、地域に見守られ地域と共に育つ保育園」と定められ、地域との連携や協力の基での保育園運営を実践されていました。</p> <p>保育の基本姿勢には、「保護者・地域とともに」保護者や地域社会と連携や交流を図り、子どものこと、運営のことを共に考え、活発な意見交換を行いますと掲載し、地域の子育て家庭への取り組みや、ボランティア・実習生の受け入れを積極的に行われていました。</p> <p>保育の基本姿勢 人権尊重として、子どもたちが人権を持てるよう、関わりや環境を大事にします。①人を尊重する力 ②人と公平にかかわる力 ③人に対する偏見をなくそうとする力と掲げ、定期的な「人権研修」を実施することにより、職員との共有が図られています。</p>
<p>◇取り組みに期待する点</p> <p>理念実現に向けて、中長期計画や中長期を踏まえた単年度の事業計画の策定が求められていますが、中長期の収支計画は策定されていましたが、中長期の事業計画の策定がみられませんでした。</p> <p>人員体制に関する基本的な考え方や人事基準の明文化が求められています。</p> <p>また、職員の個別面談は、理事長・園長にて行われていますが、目標の設定や中間面談の実施、面談の記録がみられませんでした。</p> <p>保育についての標準的な実施方法を明確化することにより、保育方法・保護者対応・安全管理など、職員によって統一された対応ができることが望まれています。</p>
<p>◇総合所見</p> <p>民間移管から、3年が経過して、保育内容・保育方法・施設環境整備など、独自性を反映された保育を職員と共に目指すことがみられました。</p> <p>地域との連携や協力体制、地域の受け入れは、特徴的な取り組みが行われていました。</p> <p>今後、保育方法やマニュアルの見直しを進められることにより、更に充実した質の高い保育園運営が行われると思われます。</p>

⑥ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

<p>第三者評価受審は、保育園の運営や保育内容に関して、振り返るよい機会になりました。マニュアルなどその内容や一字一句を見直すことで、共通理解を深めることができました。また、職員同士が話し合う機会も増え、コミュニケーションの大切さを改めて確認することができました。評価の結果、今後の課題やめざす方向なども整理されました。「中・長期計画」をはじめ、今回指摘された書類の不備などを早急に改善し、保護者や地域の方々と共に、全職員一丸となってより質の高い保育園運営をめざしたいと思います。</p>
--

⑧各評価項目に係る第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。

第三者評価結果

評価対象 I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
1	I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a
<コメント> 保育理念を「子ども一人ひとりを大切にし、地域に見守られ地域と共に育つ保育園」と定め、保育理念に基づいた、基本方針として、「保育目標」を掲げている。 また、「入園のしおり」「パンフレット」に掲載したり、「保護者会総会」にて伝達したりしている。		

I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a
<コメント> 福祉事業の動向は、「尼崎市子ども子育て支援計画」や「法人園会」の行政説明などで、情報を把握している。		
3	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a
<コメント> 理事会において、予算・事業計画・決算など、現状分析や課題などの協議が行われている。 また、その内容は、理事長より、職員会議にて報告し、共有を図っている。		

I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	c
<コメント> 2015年から2020年までの「中長期予算書」を策定しているが、中長期の事業計画の策定がされていない。		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	b
<コメント> 中長期計画に基づいた事業計画の策定が行われていない。		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b
<コメント> 2月の職員会議において、次年度の事業の方針を保育課程・重点目標・子育て支援・研修・自己評価結果など、職員参画のもとで協議して策定している。 しかし、定期的な見直しが行われていなかった。		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	c
<コメント> 保護者には、「行事計画」を伝達しているが、事業計画の伝達や説明が行われていない。		

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b
<p><コメント></p> <p>施設としての「自己評価」を2月に職員に配布して、3月の職員会議にて集約するなどの取り組みがみられた。</p> <p>しかし、評価結果をチェックしたり、分析・検討する体制が整備されていない。</p>		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b
<p><コメント></p> <p>自己評価結果については、具体的な取り組み・改善点を抽出しているが、改善計画に基づいた対応が行われていない。</p>		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	b
<コメント> 施設長である園長は、毎年度末に「方針の発表」を行い、経営や管理、運営方法などを表明している。		
11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
<コメント> 園長は、尼崎市の「法人園会」や法人内「打ち合わせ会」「理事会」にて、法令等を理解し、法令遵守の事柄などを把握している。		
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	Ⅱ-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a
<コメント> 園長は、「リーダー会議」「幼児会議」「乳児会議」など各種会議に参加して、方針を指示したり、指導計画をチェックしたりするなどし、積極的に保育現場に参画して、質の向上を図っている。		
13	Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a
<コメント> 園長は、理事として「理事会」に出席し、経営や運営に関する協議に参画するなど、評価・分析・改善の取り組みを行っている。		

Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	b
<コメント> 近隣の大学と連携して、実習生やボランティアを受け入れたり、学習指導に協力をしたりすることで、人材確保への繋がりを持っている。 しかし、人員体制に関する方針の確立が行われていない。		
15	Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	b
<コメント> 期待する職員像として、「保育の基本姿勢」を定め、①保護者、地域とともに ②人権尊重 ③社会的責任 と掲げて明確にしている。 しかし、人事基準などが定められていない。		
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	b
<コメント> 超過勤務、有休などは、事務担当者が集計し園長が確認を行っている。 また、職員の悩み相談などは、個別面談を理事長（春・秋）、園長（1学期・12月）に行ったり看護師を配したりして相談窓口としている。		

II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	II-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	b
<コメント> 個別面談は、理事長・園長にて行われているが、目標の設定や課題の進捗状況の確認が行われておらず、記録も残っていない。		
18	II-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	b
<コメント> 研修参加一覧を作成するなどして、計画に基づいた研修を行い、研修内容も保育計画に反映されている。		
19	II-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	b
<コメント> 職員研修（外部）参加一覧を策定したり、園内研修を計画したりしているが、職員一人ひとりの階層別や職種別などの計画が策定されていない。		
II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	II-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a
<コメント> 「保育士・栄養士・実習マニュアル」を策定し、意義・心得・手順などを明文化している。		

II-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	b
<コメント> ホームページを活用して情報の発信を行ったり、地域の広報誌、広報かみのしま 「生き、活き」へ、保育園の活動内容を掲載したりするなどの情報公開を行っている。		
22	II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	b
<コメント> 「保育コンサルタント」と契約し、保育運営に関すること・理事会、経営状況及び会計説明・行政指導監査立ち合いなどのサポートが行われ経営改善をしている。 また、「経理規程」にて、事務・経理・取引をルール化されている。		

II-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	II-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a
<コメント> 地域との関わり方については、保育理念と目標に、「子ども一人ひとりを大切に、地域に見守られ、地域と共に育つ保育園」と文書化したり、保育の基本姿勢には「保護者・地域とともに」と掲げられている。		
24	II-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a

<p>〈コメント〉 「ボランティア・職場体験マニュアル」を策定し、意義・心得・手順・登録手続きについてなどを明文化している。 近隣大学の学生が授業の一環としての受け入れも行われている。</p>		
<p>Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。</p>		
<p>25</p>	<p>Ⅱ-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。</p>	<p>b</p>
<p>〈コメント〉 地域の社会資源の案内は「尼崎子育てサークル情報誌」や「ひょうご子育てを楽しむ情報誌」を活用して行っている。 地域の連絡には「上ノ島地区ケースカンファレンス」や「尼崎市要保護児童対策地域協議会」などに参加して、協働した取り組みが行われている。</p>		
<p>Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。</p>		
<p>26</p>	<p>Ⅱ-4-(3)-① 保育所が有する機能を地域に還元している。</p>	<p>a</p>
<p>〈コメント〉 地域の子育て支援の活動として、「わくわくひろば」を開催し、身体計測、パネルシアター、クリスマス制作、コマ回しなど様々な活動が行われている。 また、保育園のスペースを活用した、子育て支援講座や高校生の音楽会、ポップコーンパーティなどが行われている。</p>		
<p>27</p>	<p>Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。</p>	<p>a</p>
<p>〈コメント〉 「上ノ島地区ケースカンファレンス」や民生委員による、保護者相談会、絵本の読み聞かせや子育て相談事業など地域との連携ができる取り組みが行われている。</p>		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a
<p>〈コメント〉</p> <p>「保育の基本姿勢」として、①保護者・地域とともに ②人権尊重 ③社会的責任と明文化している。</p> <p>また、子どもを尊重した保育の実施のため、毎月の職員会議において「人権研修」を開催して職員との勉強会の実施や情報共有が図られている。</p>		
29	Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	b
<p>〈コメント〉</p> <p>「虐待対応マニュアル」を策定し、定義や役割・発見のポイントやチェックシートなどが定められている。</p> <p>しかし、プライバシー保護に関する、規程の策定がされていなかった。</p>		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a
<p>〈コメント〉</p> <p>「わくわく保育園入園のしおり」や「パンフレット」、ホームページなどを活用して、情報の提供や発信が行われている。</p>		
31	Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	b
<p>〈コメント〉</p> <p>「わくわく保育園入園のしおり」を活用して、保護者の意向に配慮した説明が行われている。</p>		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	b
<p>〈コメント〉</p> <p>転園や保育終了後の窓口としては、園長・主任が担当して相談などを行う体制になっているがルール化や文書化が出来ていない。</p>		
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a
<p>〈コメント〉</p> <p>保護者の満足度を図るために、運動会後の保育アンケートや発表会の行事アンケートをとり、結果については職員と共有して改善を図っている。</p> <p>また、保護者総会に参加するなど意向や情報の収集も行われている。</p>		
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a
<p>〈コメント〉</p> <p>苦情解決に向けて、「ご意見、ご要望の解決のシステム」を策定して、体制・第三者委員・解決の手順・解決の流れを整備している。</p> <p>また、「意見・要望等の受付書」は記録して、内容に応じて、個人や園だよりにてフィードバックを行っている。</p>		

35	Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a
<p>〈コメント〉</p> <p>入園のしおりには、「保護者との連携」として、「相談等の機会作りを充実」と案内して、日々のコミュニケーション・保護者懇談会における意見交換・個人懇談・クラス懇談・家庭訪問・三者協議会などが明記されている。</p>		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b
<p>〈コメント〉</p> <p>保護者からの意見を受け付けた場合には、「ご意見・ご要望申し出と解決の流れ」の手順に応じて対応が行われている。</p> <p>しかし、マニュアルの定期的な見直しが確認できなかった。</p>		
<p>Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。</p>		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a
<p>〈コメント〉</p> <p>「安全委員会」を組織して、点検表を活用した施設のチェックやヒヤリハットの集計を行い、事故防止に努めている。</p> <p>また、「保育園内で事故が発生した場合」として、事故防止、対応指針や事故の未然防止に向けた取り組みを明文化している。</p>		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a
<p>〈コメント〉</p> <p>看護師を責任者として「感染症マニュアル」を策定して、保育園における感染症の園の基準や嘔吐の処理方法を職員と共有をしている。</p>		
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的にやっている。	b
<p>〈コメント〉</p> <p>「危機管理マニュアル」を策定して、火災・地震・津波などの対応方法が明文化されており、避難場所や避難先の指示も明記している。</p> <p>「備蓄食購入リスト」を作成しているが、準備や購入の確認が出来なかった。</p>		
40	Ⅲ-1-(5)-④ 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知している。	b
<p>〈コメント〉</p> <p>「食中毒または、食中毒の疑いがある感染症発生時の対応」マニュアルを策定し、状況の把握給食室の対応、二次発生の防止措置が定められている。</p>		
41	Ⅲ-1-(5)-⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知している。	c
<p>〈コメント〉</p> <p>不審者対応訓練については、避難訓練の一環として実施されているが、対応マニュアルの策定が出来ていない。</p>		

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
42	Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	c
<コメント> 保育についての標準的な実施方法が文書化されていない。		
43	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	c
<コメント> 保育についての標準的な実施方法が文書化されていない。		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
44	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	a
<コメント> 指導計画は、園長が責任者として、クラスリーダーが作成して、主任を経由し提出する仕組みとなっている。 入園前のアセスメントとしては、「保育所入所面談資料」「保育基礎資料」「離乳カード」などを活用して行われている。		
45	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	b
<コメント> 指導計画の見直しについてのルールはあるが、仕組みとしての構築がみられなかった。		
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
46	Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a
<コメント> 子どもに関する保育の記録は、「乳児会議」「幼児会議」にて話し合わせ、個人別の計画や経過記録なども、職員間で共有されている。		
47	Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a
<コメント> 個人情報の責任者は、園長として、「個人情報保護規定」を定め、同意書を取るなどの取り組みがみられた。 また、ホームページや「入園のしおり」において、「個人情報の取り扱いについて」の案内を掲載している。		

評価対象 A 実施する福祉サービスの内容

A-1 保育内容

		第三者評価結果
A-1-(1) 保育課程の編成		
A①	A-1-(1)-① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	b
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		
A②	A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	b
A③	A-1-(2)-② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a
A④	A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a
A⑤	A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a
A⑥	A-1-(2)-⑤ 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
A⑦	A-1-(2)-⑥ 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
A⑧	A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
A⑨	A-1-(2)-⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
A⑩	A-1-(2)-⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b
A⑪	A-1-(2)-⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a
A-1-(3) 健康管理		
A⑫	A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a
A⑬	A-1-(3)-② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a
A⑭	A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け、適切な対応を行っている。	a
A-1-(4) 食事		
A⑮	A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a
A⑯	A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a

特記事項

- A①保育課程の作成において、当施設の地域の状況を把握し、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態を反映している。
しかし、定期的な見直しが、確認はできなかった。
- A②採光を工夫された明るい園舎で、子どもの一人ひとりの居場所を大切に環境構成している。
各年齢の発達をふまえて、オープンなスペースを、寝食・遊びなどの目的に応じた生活空間の確保している。
空気清浄器を各室内に設置し、子どもの健康に配慮しているが、温度・湿度を適切な状態に保持されるように記録が確認できなかった。
- A③新入園の際の家庭訪問を実施し、子どもの発達や家庭環境など、一人ひとりの状態を十分に把握している。
子どもの権利の尊重を基本に、個性を大切に計画を作成し、保育実践につなげられている。
- A④一人ひとりの発達に合わせて、生活に必要な基本的な生活習慣を身につけられるよう、環境を整備しており、乳児クラスにおいては担当制を取り入れている。
子どもの発達に応じた活動と休息のバランスを保たれるよう、遊びと生活のスペースを工夫している。
- A⑤子どもが自主的・自発的に生活と遊びができるよう、季節のあそびや興味関心を持っているあそびなどを受け止め理解し環境を工夫している。
園庭には、どんぐりや桜があり、四季を感じ遊ぶことができ、自然に触れる機会もあり、豊かな経験がひろげられている。
- A⑥生活の場と遊びのスペースを区別し、0歳児が、長時間過ごすことに適した環境への整備をしている。
子どもが安心して過ごすことができるよう担当制を取り入れ、保育者等との愛着関係の構築を配慮している。
個人マークを保護者が選択し、園での生活が安心してスタートできるように思いを受け止め、連絡ノートで健康について連携を密にとることができている。
- A⑦子どもの自己主張や表現を、温かい雰囲気の中で受け止めるため、職員間の連携をとり、個別計画においても記載している。
家庭との連携は、連絡ノートにおいて個別配慮を大切に行われている。
- A⑧3歳児から就学までの子どもの発達の特徴を踏まえ、一人ひとりの子どもの育ちに応じた個別配慮を行い、オープンスペースを工夫し、生活と遊びの空間の構成など、総合的に身につけられるようにしている。
- A⑨障がいのある子どもの個別の計画を立て、医療機関や阪神地域の特別支援学校との連携を図り、個別対応を行っている。
子どもの成長などについては、保護者との連携を密にして共有し、巡回指導を受けたり、個別計画へ反映したりしている。
- A⑩ランチルームは、年齢の異なる子どもが、一緒に過ごせるよう配慮している。
子どもの状況について、保育士間の連携が綿密に行われるよう引き継ぎノートを活用している。
しかし、子どもの1日の生活の流れや連続性を配慮した、計画について確認できなかった。
- A⑪小学校の連携として、近隣小学校への交流見学や1年生との交流や小学校行事への参加など、保育課程の中に記載し、接続の大切さが記されている。
「たちばなまつり」「5年生との交流」「プール交流」などがあり、子どもが、小学校以降の生活について見通しを持てる機会を設けている。
- A⑫健康管理に関する計画を看護師を中心に、4期に分けて作成して、個々の健康記録が作成されている。
保護者に対して、「ほけん「だより」」を発行し、健康に関する情報や取り組みなどを発信し、感染症の情報もタイムリーに掲示されている。
- A⑬健康診断・歯科健診の結果を職員が共有し、看護師が子どもの発育・発達状態や健康の状態を把握し、保健計画に反映して、健康増進につなげている。

<p>A⑭アレルギー疾患のある子どもに対して、「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」をもとに、医師の診断による指示書の提出を受けて、状況に応じた食事の提供を行っている。 食事の提供の際は、全員が食べられる食材を使用すると共に、担任がチェックし、トレーの色分けにも工夫をしている。</p> <p>A⑮地域の方との交流を図り、様々な野菜の栽培をしたり、いかやタコの魚介類の調理の実演をみたりして、食に関する豊かな経験ができる取り組みが行われている。 離乳食については、一人ひとりの状況に合わせ栄養士と保育者が連絡を取り合って進めている。 保護者に向けたアンケートを実施し家庭の状況を把握したりに食の大切さを伝えたりしている。</p> <p>A⑯季節感のある献立や、地域との連携をもとに食文化や行事食などを取り入れている。 調理員・栄養士等が子どもの食事の様子をみたり子どもの話を聞いたりする機会を持っている。</p>

A-2 子育て支援

		第三者評価結果
A-2-(1) 家庭との緊密な連携		
A⑰	A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a
A-2-(2) 保護者等の支援		
A⑱	A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	b
A⑲	A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a

特記事項

<p>A⑰園での子どもの様子と家庭との連携のために連絡帳を活用して共有を図っている。</p> <p>A⑱保護者からの相談について、担任で解決できない場合は、主任や園長に相談し、職員会議で話し合っている。 個人懇談を必要に応じて行い、子どもの状況などは、台帳にも記録しているが、相談内容の記録が確認できなかった。</p> <p>A⑲「虐待マニュアル」を策定して、虐待の予防や対策を行っている。 必要に応じて、「尼崎市要保護児童対策地域協議会」と連携した、取り組みが行われている。</p>
--

A-3 保育の質の向上

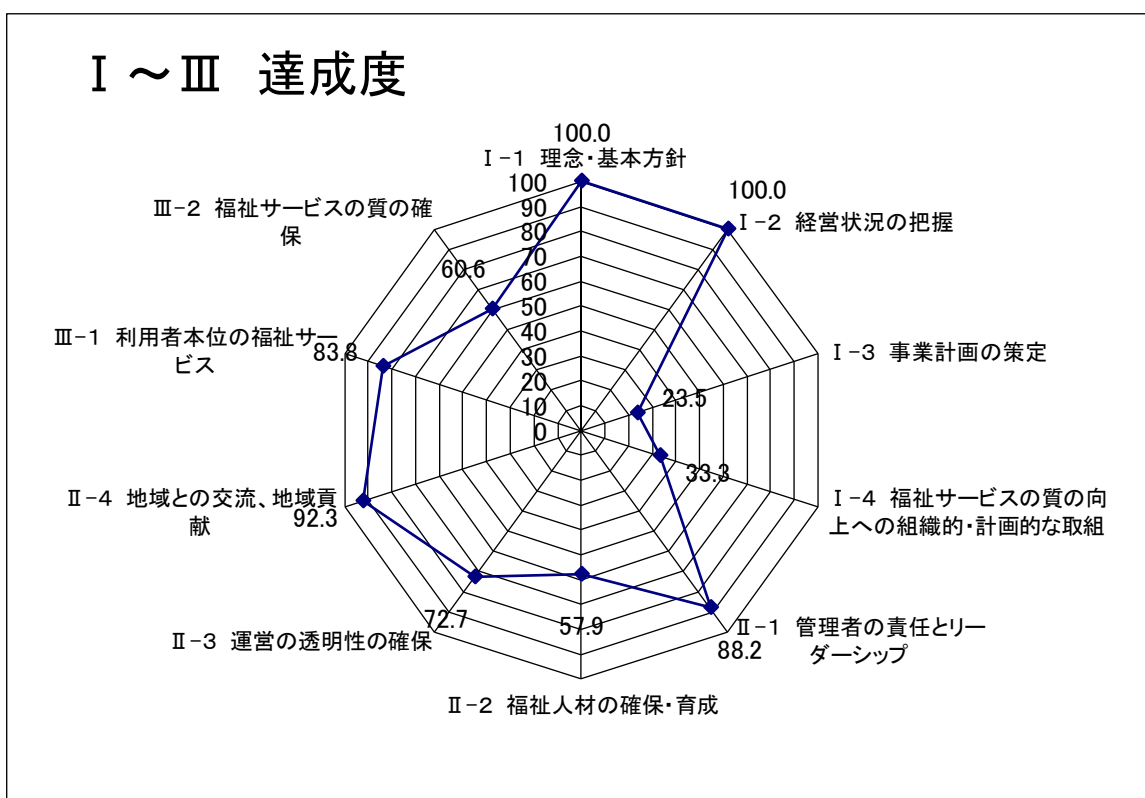
		第三者評価結果
A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）		
A⑳	A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	b

特記事項

<p>A⑳園独自の自己評価を作成し、年度末に実施し、個人の反省・振り返りを行っている。 しかし、保育士等の自己評価を保育所全体の保育実践の自己評価につなげるシステムが確認できなかった。</p>

I～III 達成度

	判断基準		達成率(%)
	基準数	達成数	
I-1 理念・基本方針	7	7	100.0
I-2 経営状況の把握	8	8	100.0
I-3 事業計画の策定	17	4	23.5
I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組	9	3	33.3
II-1 管理者の責任とリーダーシップ	17	15	88.2
II-2 福祉人材の確保・育成	38	22	57.9
II-3 運営の透明性の確保	11	8	72.7
II-4 地域との交流、地域貢献	26	24	92.3
III-1 利用者本位の福祉サービス	74	62	83.8
III-2 福祉サービスの質の確保	33	20	60.6
合 計	240	173	72.1



A 達成度

	判断基準		達成率(%)
	基準数	達成数	
1-(1) 保育課程の編成	5	4	80.0
1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	64	61	95.3
1-(3) 健康管理	17	17	100.0
1-(4) 食事	15	15	100.0
2-(1) 家庭との緊密な関係	4	4	100.0
2-(2) 保護者等の支援	13	11	84.6
3-(1) 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価)	6	5	83.3
合計	124	117	94.4

総合計(I～III+A)	364	290	79.7
--------------	-----	-----	------

